

諮問から答申までの流れについて

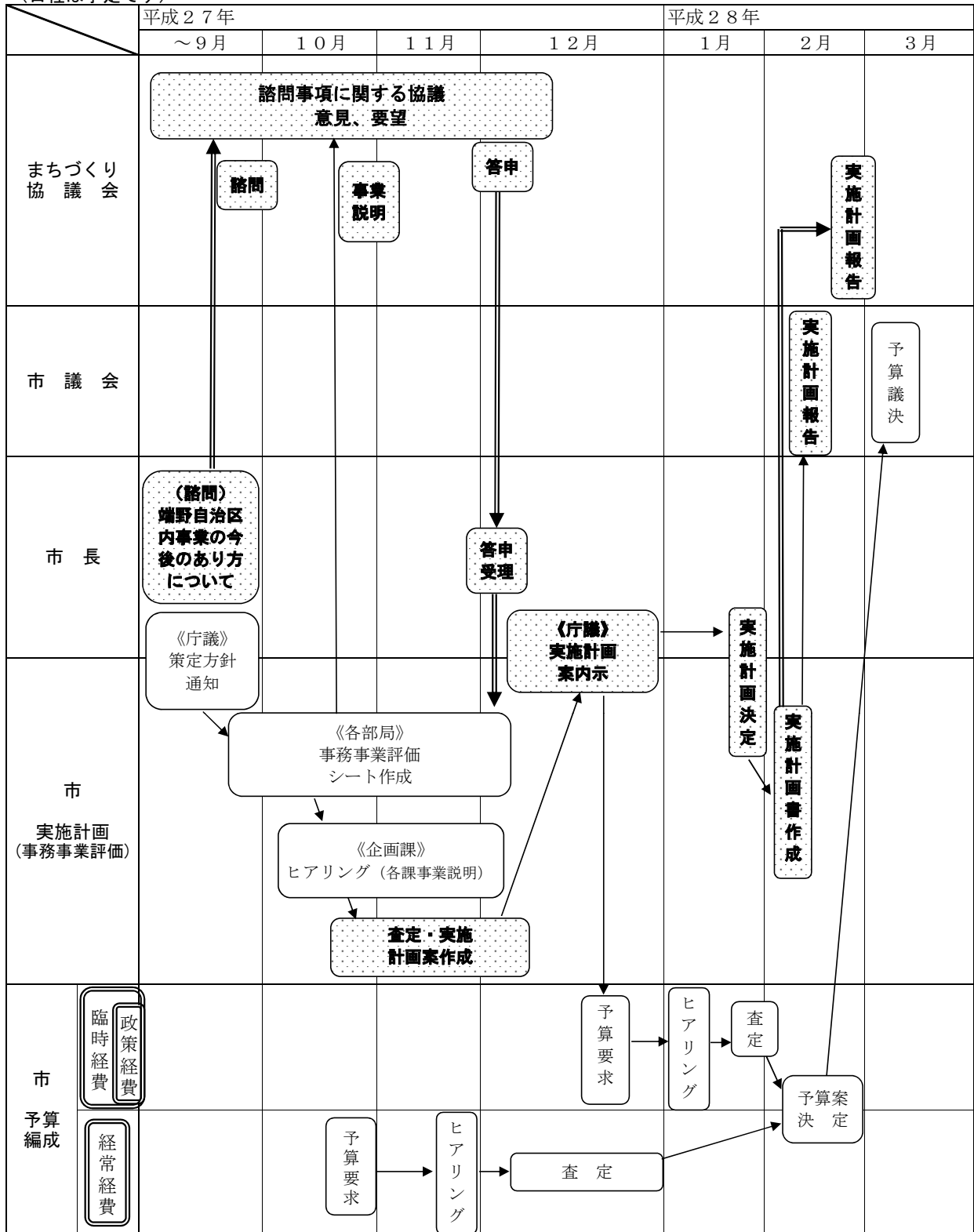


平成27年9月2日

端野まちづくり協議会

◆ 諮問から答申までの流れについて ◆ (実施計画策定とまちづくり協議会の関わり)

(日程は予定です)



(用語解説)

・**実施計画とは**、総合計画を受けて、その目標達成に向けた個別事業を計画的に実施するために位置付けた計画。

・**実施計画の対象となる事業とは**、道路整備、各種施設整備などの建設事業や、新規のソフト事業の他、既に実施している事業（経常的なもの）で市民サービスの向上を目的としたレベルアップ分についても対象となります。また、国や道が事業主体であっても、市の財政負担を伴う事業も含まれます。

・**政策経費とは**、実施計画採択予定事業や施設の新設・増築等の事業費、その年限りの比較的多額の営繕改修、臨時物件の購入などです。

・**経常経費とは**、毎年、経常的に支出する、人件費・公債費などの義務的経費や施設維持管理費等に該当する経費です。

北見市総合計画「基本構想」： 第3章「自治区別整備方針」

○端野自治区

当地域は、道路・交通の便に恵まれ、北見の中心市街地から近距離にあることから、暮らしの中にゆとりの持てる職住近接型の住宅地の整備を進め、子育て世代やU J I ターン者を対象とした住宅供給対策や市営住宅の建て替え整備を推進するとともに、屯田の杜公園周辺を地域の生涯学習の核とする環境の整備に努めます。また、活力ある農業地域として発展していくため、土地基盤整備事業や後継者育成、環境に配慮した安全・安心な農産物生産などを促進するとともに、沿道立地型商業の誘致を図ります。

北見市総合計画 後期基本計画：「自治区のまちづくり」

○自治区の特性

端野自治区は、本市の中心部と連担し、肥沃な常呂川流域とこれに連なる丘陵地帯に田畑が広がる地域です。また、国道39号沿線には沿道型店舗が集積され、屯田の杜公園から端野町7号線にかけては学校や社会教育施設などが集まる文教地区が形成され、穏やかな田園風景と都市的な利便性がほどよく調和しています。

しかしながら近年では人口減少とともに少子高齢化が進み、地域における交流機会も減少してきています。今後は、引き続き基幹産業である農業を振興し、本市中心部との近接性を活かしながら定住促進を図るとともに、スポーツ・芸術文化活動の充実と安心して心豊かな暮らしができる地域づくりが求められています。

○自治区を目指す姿と整備方向

端野自治区を目指す姿としては、“育む農業と心地よい暮らしが調和するまちづくり”とし、前期基本計画で示した4つの方向をさらに充実していくものとします。

◆◆◆育む農業と心地よい暮らしが調和するまちづくり◆◆◆

- クリーンで高品質な農産物の生産や農業・農村交流が盛んな地域
- 子どもへの温かな眼差しにあふれ、子育てや教育環境が整った地域
- 美しい田園景観と公園や住宅地など生活環境が調和した地域
- 災害に強く、誰もが安全・安心に暮らせる地域

○ 今後の重点施策：端野自治区

① 豊かで活力に満ちた端野の農業の振興

農業基盤の整備や保全を進め生産性の向上を図るとともに、クリーンで高品質な農産物の生産を支援します。また、担い手の育成やUターン・Iターン農業後継者に対して交流機会の充実などの支援を行い、農村景観の維持、情報の発信や特産品を活かした交流イベントの推進など新たな農業の魅力づくりや付加価値づくりに取り組みます。

- (1) 端野の基幹産業である農業の基盤整備
- (2) 担い手の育成、Uターン農業後継者に対する交流機会等の支援
- (3) 農業環境の保全、景観の維持、情報の発信など環境保全型農業の推進
- (4) 農地・農道の保全、生産性の向上、農地の利用集積等の推進
- (5) 農産物のブランド化や6次産業の推進、人材育成及び雇用の拡大
- (6) 特産品を活用したイベント交流や地産地消の推進

○ 想定される事業

- ・ 土地改良事業…農地基盤整備事業
- ・ 負担金援助…食料供給基盤強化特別対策事業
- ・ 農地整備事業（通作条件整備）…基幹農道整備・一般農道整備
- ・ 多面的機能支払交付金事業・・・など

○ その他の課題

- ・ 特産品のPR、特産品を活かしたイベントの取組み
- ・ 地産地消の取組みや付加価値の向上化
- ・ 生産者、販売者など関係機関のネットワークづくり
- ・ 担い手対策支援や後継者対策支援
- ・ 農業を活かした交流機会の充実 など

② 生きる力を育む教育の振興と子育て支援・生涯学習の推進

小学校と中学校の連携など教育環境を図るため小学校の移転改築を進めるとともに、図書館整備をはじめとする社会教育施設の整備や改修、多目的グラウンドの高度利用を図ります。

また、「まちづくりは人づくり」の考えに基づき各世代に生涯学習機会を提供し、必要な情報の発信を行います。

- (1) 子どもたちが伸び伸びと学ぶことのできる教育環境の整備
- (2) 図書館整備をはじめとした社会教育施設の整備や改修
- (3) 青年層、団塊の世代等の生涯学習、地域行事への参加の推進
- (4) 折込広報誌、ホームページ等を使った地域情報の発信
- (5) 広域交流事業の推進
- (6) 子育てしやすい環境の整備

○想定される事業

- ・端野小学校改築事業
- ・端野小中学校教員住宅改築事業
- ・旧端野中学校解体事業
- ・スクールバス更新事業
- ・端野図書館改築事業
- ・屯田の杜公園整備事業
- ・地域センター改修事業

○その他の課題

- ・旧端野小中学校の跡地利用
- ・小中学校と地域との連携したまちづくり
- ・出生率の低下させない環境整備
- ・まちづくりを担う人材育成
- ・丸森町との交流推進
- ・住民広報の工夫、充実など地域情報の発信
- ・地域活動（自治会活動）の支援
- ・諸団体の役員のみならず手不足、各種団体の運営
- ・社会教育関係団体の衰退
- ・人づくり、ネットワークづくり など

③ 快適で安全な居住環境を活かした定住対策の促進

住民の誰もが安心して快適に暮らせるまちをつくるため街路などの整備や保全、通学路の安全対策、人口減少対策に資する公営住宅の改築など居住環境の整備を進めます。道路・交通の便が良い立地を活かし、本市中心市街地との連携や多くの交流人口が生まれる事業の推進を図ります。

また、自治会や関係団体と協働し、住民相互が支え合い安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

- (1) 住みたくなるまちをつくるため快適な居住環境整備及び道路水道等の基盤整備

- (2) 通学路の交通安全対策
- (3) 人口対策にも考慮した公営住宅の改築
- (4) 市道の保全整備事業
- (5) 北見市の中心都市機能に隣接し、道路・交通網に優れた立地を活かした事業の推進

○想定される事業

- ・各種道路整備事業…歩道設置、改良舗装（舗装化）、新設道路改良舗装
- ・オーバーレイ舗装整備事業（再舗装工事）
- ・市営住宅建替え事業（親交団地）
- ・市営住宅改善事業（白かば団地・東陽団地）
- ・市営住宅建替え事業（緋牛内団地・東方団地）
- ・協和地区簡易水道事業（緋牛内簡水区域の統合）
- ・送配水施設整備事業
- ・端野地区特定環境保全公共下水道整備事業（雨水管整備）
- ・各種公園等整備

○その他の課題

- ・地域コミュニティー活動の推進
- ・防災体制の充実強化
- ・除排雪体制の維持強化
- ・福祉センター解体と跡地利用
- ・空き家対策や廃墟対策
- ・移住定住の促進
- ・立地を活かした地域活性化施策の推進 など